

# 北海道 たすけあいワーカーズ

北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会 代表理事 齊藤佳代子

労働者協同組合法周知フォーラム 2022.11.27

# たすけあいワーカーズ立ち上げの経緯

北海道のワーカーズ・コレクティブは現在34団体470名 たすけあい8団体

○1986年～生活クラブ生協のワーカーズ運動として

- ・自分たちに何ができるのか・・・子育て、家事支援、調理、学習指導等々

○1994年～

組合員活動の中からの声や地域のニーズから福祉のワーカーズを始める

→ 高齢者、障がいのある方、病中病後、産前産後の方を対象に

家事支援や外出の付き添いなどのサービス = たすけあいワーカーズ

○2000年～ 利用者さんの要望から

- ・介護保険に参入
- ・障害福祉サービス、通所介護事業、居宅介護支援事業へ



# 北海道たすけあいワーカーズ

名称	所在地	会員数	設立年度・事業内容	事業高	出資金
たすけあいワーカーズところ	札幌市手稲区	9人	1994 たすけあい・訪問事業	1250万	20,000
たすけあいワーカーズのほろ	札幌市厚別区	14人	1995 たすけあい・訪問事業	1300万	20,000
たすけあいワーカーズそよ風	札幌市東区	13人	1995 たすけあい・訪問事業	1600万	20,000
たすけあいワーカーズこすもす	札幌市豊平区	13人	1996 たすけあい・訪問事業	1230万	20,000
たすけあいワーカーズさくらんぼ	札幌市南区	10人	2004 たすけあい・訪問事業	1410万	10,000
たすけあいワーカーズむく	札幌市白石区	21人	1994 たすけあい・訪問事業 通所・居宅介護支援	2520万	10,000
たすけあいワーカーズエルサ	石狩市	12人	1994 たすけあい・訪問事業 通所・居宅介護支援	3350万	50,000
たすけあいワーカーズどんぐり	北広島	21人	1996 たすけあい・訪問事業 通所	3510万	30,000

# たすけあいワーカーズの連携

「北海道たすけあいワーカーズ」

事業内容

議案書

- ・各会の運営状況共有、事例検討 月1回
- ・研修 「キャリアパス支援等研修事業」北海道補助金  
認知症・障がいの理解・身体介護・医療の知識・サ-責研修等
- ・たすけあいフォーラム
- ・講師事業(介護教室等)
- ・課題の共有と解決→生活クラブ運動グループとの政策提言



地域とともに生きる福祉



研修



## 「たすけあいワーカーズさくらんぼ」の場合

○障がい児の放課後をサポートする移動支援事業を始めたい

5人の仲間を集め、ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会へ相談

○たすけあい部会からの助言

○拠点になる南区の生活クラブ生協と協同で「ワーカーズを始めませんか」の集会を開催（ワーカーズの働き方や実践しているワーカーズの紹介）

○関心のある5名のメンバーが加わり、設立準備

○書類作成、事務所の準備、他のたすけあいワーカーズに同行訪問

札幌市の「女性のための起業家講座」（ワーカーズ・コレクティブ方式）に参加



# 出資・経営・労働

1. 一人ひとりが出資します  
(設立時は債券発行)

2. みんなで経営します

・毎月の定例会議 事業の進捗、  
課題、会計、分配金など

・総会

・代表交代

3. みんなで働きます

・ケア担当者会議・チーム会議・研修参加

・働き方は、それぞれの状況に合わせて働きます

ワークショップ



定例会



# 労働者協同組合へ

	労働者協同組合	NPO法人
目的	出資・意見反映・従事を基本原則とした組織による持続可能な地域社会づくり	ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動による公益の増進
出資	できる	できない
非営利性	非営利 営利を目的としてはいけないことを明記	非営利
事業	労働者派遣事業以外制限なし	法律で定められた20の特定非営利活動に限る
組合員資格議決権	定款で定める個人	多様な会員制度 正会員であれば働いていない人も議決権を持つ
認可	準則主義	県または政令市の認証
設立要件	5人以上	10人以上
労働契約	○	○

# 労働者協同組合への移行

○介護保険事業を行っていく上では、現在のNPO法人でも支障がない(意見)

- ☆私たちは、地域福祉を行う上で介護保険事業だけが目的ではない  
各事業所で行っている交流会、サロン、地域づくりやフォーラム
- ☆協同労働の良さ（やりがい、ワークライフバランス）を広げていきたい
- ☆担い手と利用者が横並びの関係
- ☆長い運動の末、獲得した法制化を活用することで、社会に働く自由度を  
広げていきたい 運動してきた私たちの責任と自負
- ☆ワーカーズ・コレクティブの**目的**を確認し事業を継続していく

## ワーカーズ・コレクティブ設立趣意書（抜粋） 1986

ワーカーズ・コレクティブは誰かに雇われて働くのではなく、働くもの自身が出資し、事業主として働く自主管理共同体的な運営をする事業体です。

このような方法で事業を行うことにより、大きな資本を持たないものにも資金を持ち寄り、協同し、自主管理していくことで、自分自身の生き方に対して、納得のいく働き方の可能性を拓くことを模索します。

さらに今日の企業社会、競争社会とは質の違う働く場を地域事業、共同事業として展開する展望を切り拓きます。

地域社会をワーカーズ・コレクティブで一杯にして、地域経済を市民に引き寄せ、暮らしている地域社会の価値を高めていきましょう。